



平成 19 年 7 月 5 日

各 位

会社名 株式会社ディーワンダーランド
代表者名 代表取締役社長 久野 哲彦
JASDAQ・コード 9611
問い合わせ先
役職・氏名 取締役管理部長 脇村 正紀
電話 03-5421-6111

平成 19 年 9 月期の通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 25 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 9 月期連結及び個別通期業績予想の修正

(平成 18 年 10 月 1 日 ～平成 19 年 9 月 30 日)

(1) 連結通期業績予想

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	10,771	1,524	1,183	343
今回修正予想 (B)	11,278	1,785	1,446	296
増減額(B-A)	507	261	263	△47
増減率(%)	4.7	17.1	22.2	△13.7

(2) 個別通期業績予想

(金額の単位:百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	365	△151	△159	△161
今回発表予想 (B)	28	△106	△114	△329
増減額(B-A)	△337	45	45	△168
増減率(%)	△92.3	—	—	—

2. 通期業績予想の修正理由

当社ITソリューション事業の一環として行なっております企業向け営業支援システムの開発およびその販売部門において、平成16年10月より当社と開発請負契約を締結しておりますユーザーに対して、開発諸費用の増加について応分の負担を求めたところ、先方より一方的に当該システムの開発停止要請があり、諸費用増加についての当方の申し出に応じようとしないうえ、今般当社より平成19年7月5日をもって契約解除の申し出を行いました。

当該状況に伴い、今後双方間で代金支払等の協議を重ねざるを得ない状況となった為、今期の売上計上を見合わせるものでございます。

当該会計処理に伴い開発原価は、特別損益区分において解除仕掛品処分損などに取込み計上する見込みであります。

以上を踏まえ、個別業績見通しにつきましては、当事業年度の売上高28百万円、営業損失106百万円、経常損失114百万円および当期純損失329百万円に修正させていただきます。

ただし、今後訴訟など予期せざる諸費用も想定され現状ではかなり未確定要因もございます。

連結業績見通しにつきましては、子会社株式会社大黒屋の業況は引続き堅調に推移しており、業容拡大を目指し上期にオープンした大宮店、名古屋大洲店も順調に推移しております。この7月には大阪地区3か店目となる梅田店もオープンし業績伸長に寄与する見込みです。

以上を踏まえ、連結では売上高11,278百万円、営業利益1,785百万円、経常利益1,446百万円および当期純利益296百万円に修正させていただきます。

なお、今後の影響等につきましては、前述のとおり交渉推移を見守らねばならず、現時点では未定であります。影響が明らかになり次第、逐次適切に開示してまいります。

(注) 当該予想は、本資料の作成時点で入手可能な資料に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上